

原文	修正文
その内容は、豪族が争いをやめ、人々が和の精神をもち、天皇を中心に協力していくことなどを求めたもので、<u>公共の利益</u>のために奉仕する役人の心がまえと国家の理想が示された。和を重視する考え方は、その後の日本社会の伝統となった。 P.35囲み (15)私心をすてて<u>公共</u>の立場に立つのが、君主に仕える者のつとめだ。 同p. 25～7 …太子の政治の本当のねらいは、豪族の力をおさえ、天皇を中心とした国家のしくみを整えることだった。 公共の利益について説明不足であり、また断定的で理解し難い表現である。	その内容は、豪族が争いをやめ、人々が和の精神をもち、天皇を中心に協力していくことなどを求めたもので、^{おおよけ}<u>公</u>のために奉仕する役人の心がまえと国家の理想が示された。和を重視する考え方は、その後の日本社会の伝統となった。 (15)私心をすてて^{おおよけ}<u>公</u>の立場に立つのが、君主に仕える者のつとめだ。 …太子の政治の本当のねらいは、豪族の力をおさえ、^{しんきょう}<u>儒教や仏教の教え</u>をとりいれつつ、天皇を中心とした国家のしくみを整えることだった。